

公 示 用

令和8年度施工

設計書

業 務 名

平岡公園第一駐車場雨水排水修繕業務

札幌市建設局 みどりの推進部

業務名

平岡公園第一駐車場雨水排水修繕業務

業務委託費

円也

一金

内訳

業務価格

円也

消費税等相当額

円也

業 務 説 明

1. 業務概要

平岡公園第一駐車場の雨水排水施設において、経年劣化等により雨水の流下能力が低下しているため、既存の管きよを廃止し、新たに管きよを新設する業務である。

2. 履行期間

契約締結日から令和8年10月30日（金）までとする。

3. 仕様書等

○受託者は、札幌市土木工事共通仕様書、札幌市造園工事標準図及び本業務特記仕様書に基づいて適正に役務を履行しなければならない。

役務の実施に際して、上記仕様書に定めのない事項が発生した場合は、業務主任と協議の上決定するものとする。

コンクリート、アスファルトについては、関係法令に従い適切に処分すること。

なお、処分先は以下を想定している。

伐採物は当公園内ヤードに堆積すること。詳細については契約後業務主任と協議すること。

建設副産物分類	施設名	連絡先	受入条件等
コンクリート塊 (無筋・有筋)	札幌市環境 資源セン ター	TEL 684-5488	・処理施設の選考にあたり運賃等を考慮の上決定すること。 ・分別解体により小割りしたもの（コンクリートブロックも可）
アスファルト塊	道路工業㈱	豊) 西岡521-6 TEL 582-8080	※処理料金有料。 ※再生アスファルトとして売却。 ※受け入れ時間、受け入れ量等については各施設へ事前に確認すること。 注1) 札幌リサイクル骨材㈱は事前打ち合わせによる。カラー舗装の受け入れ可
廃プラスチック類 (硬質・軟質・塩ビ)	北清企業㈱	北) 篠路町拓北 6-591 TEL 791-1101	※処理後は、焼却後埋立、または再生プラスチックとして売却

○発生材の処理にあたっては、関係法令に従い適正に処理すること。なお、業務主任から処理伝票等の提出を求められた場合は、直ちに提出すること。

○当該業務で使用する生コンクリート及びセメントの標準配合は、担当から特に指定ある場合を除き、下記の通りとする。

	配合 種別 記号	設計基準 強度 N/mm ²	粗骨材の 最大寸法 mm	スランプ cm	空気量 %	最大 水セメント 比 %	最少単位 セメント量 Kg/m ³	適用する構造物
○	C-1	—	20又は25	8	4.5	—	—	均し及び埋戻し コンクリート、縁 石、仕切石等の 基礎コンクリート
○	C-1P						270	
○	C-4	18	40	5	4.5	55	—	上記以外の基礎 コンクリート、中 詰めコンクリート
○	C-4P			8			270	
○	C-10	18	20又は25	8	5	55	—	胴込め、裏込め コンクリート
○	RC-1	21	40	12	4.5	55	280	鉄筋構造物等

○アスファルト合材の標準配合表は下記のとおりとする。

道路種別	種 別	標準密度 (参考)	As量 (%)	Fi量 (%)
歩道	再生細粒度アスコン(13)(再生混入率50%)	2.15		

※上表空欄箇所については、仕様書・舗装再生便覧（令和6年3月（公社）日本道路協会発行）等に示す標準配合の範囲内で、各プラントが標準的に出荷するアスファルト混合物の配合とする。

4．特記仕様書

別紙のとおりとする。

5．完了

受託者は、本役務の完了後、速やかに次の書類を提出するものとする。

- (1) 完了届
- (2) 業務報告書・業務写真

札 幌 市

平岡公園第一駐車場雨水排水修繕業務

【仕様書】

【業務概要】

平岡公園第一駐車場の雨水排水施設において、経年劣化等により雨水の流下能力が低下しているため、既存の管きょを廃止し、新たに管きょを新設する業務である。

【業務箇所】

平岡公園：札幌市清田区平岡第一駐車場

詳細な位置は別紙参照

【業務内容】

I. 公園施設等撤去・移設工（既設雨水管の閉塞）

別紙「撤去平面図（１）」「撤去平面図（２）」の示す通り、A1～A2～A3の雨水系統は廃止のため、管閉塞を行う。

1. A1桝～A2桝の閉塞

- ・ A1桝周辺の既設インターロッキングブロック舗装、歩車道ブロック（低下）を、別紙「撤去平面図（２）」を参照に撤去を行う。
※歩車道ブロック（低下）は再利用。
- ・ A1桝からA2桝へ流出する雨水管（φ200コンクリート管）の内部をキャップで閉塞し、雨水が流出しないよう、十分に管口処理を行う。
※内部管口処理のため、桝周辺の掘削および上部桝の撤去（再設置）を行う。
- ・ A2桝の流入側の雨水管（φ200コンクリート管）をA2桝から0.5m程度とりこわし（撤去）、モルタル等で管閉塞を行う。併せてA2桝の管が接続されていた開口部も閉塞を行う。

2. A2桝～A3桝の閉塞

- ・ A2桝からA3桝への流出する雨水管（φ200塩化ビニル管）をA2桝から0.5m程度で切断撤去し、キャップを使用し管閉塞を行う。
- ・ A3雨水桝の流入側の雨水管が露出するまで掘削し、A3雨水桝から0.5m程度で切断撤去し、キャップを使用して管閉塞を行う。
※A3桝の開口部は、新規流入管を取り付けるため閉塞しない。
- ・ Iで発生したコンクリート殻や塩ビ管は所定の施設へ運搬処理。

II. 雨水排水施設工（新規雨水管布設）

別紙「新設平面図（雨水）」に示すとおり、A1桝からA3桝へ雨水管（φ200）を布設する。

1. A1桝からA3桝管の既設施設の撤去

- ・ 管路掘削に伴い「撤去平面図（２）」のとおり、既設アスファルト舗装、既設インターロッキングブロック舗装の撤去、既設各縁石の撤去（再利用）、樹木の伐採・抜根等を行う。
- ・ アスファルト殻、インターロッキングブロック（CON殻）は所定の施設へ運搬し処分。
- ・ 民地仕切石、歩車道ブロック（低下）は再利用を行うため、保管しておくこと。
- ・ 伐採物は、平岡公園内のストックヤードへ運搬すること。場所や日程について業務主任と協議を行うこと。

2. 雨水管新設

- ・ 「新設平面図（雨水）」に示す掘削断面、管勾配で掘削し、基面整正を行う。
※管路上に照明灯の電気配管があるため注意すること。
- ・ A1桝の所定の高さに穿孔する。併せてA3桝も所定の高さと穿孔する。
- ・ 勾配に十分注意し、硬質塩化ビニル管（φ200）を布設し、A1桝、A3桝に接続し管口処理を行い、良質土（現場発生土）で埋戻しを行う。
緑地帯以外は、アスファルト舗装を敷設するため、仕上がり高さより30cm低く埋め戻すこと。

Ⅲ. 園路広場施設工

別紙「新設平面図（園路広場整備工等）」に示すとおり、雨水排水施設敷設に伴い撤去した、園路広場施設の復旧を行う。

1. 民地仕切石、歩車道ブロックの再設置

- ・ 撤去（再設置）・保管していた縁石類を「札幌市造園工事標準図」のとおり再設置を行う。

2. アスファルト舗装工

- ・ 凍上抑制層、下層路盤（ $\Sigma t270$ ）を碎石（C-40）にて2層に分け敷均し十分に転圧を行い、表層（t30）を再生細粒度アスコン（歩道）50%にて敷設する。仕上がり高さは現状地盤高に合わせることを。

Ⅳ. 滑落部後埋戻し

雨水流出に洗堀を受けた、A2柵周りの埋戻しを行う。

1. 既存仮設ブルーシート等の撤去

- ・ 緊急対応で布設したブルーシートや土嚢袋の撤去を行い、落ち葉などの埋戻しに不適格な物の除去も併せて行う。

2. 購入土による埋戻し

- ・ 埋戻しに適した購入土により、埋戻しを行う。
※埋戻し材については、事前に業務主任の承諾を得ること。
- ・ 埋戻し部が、崩壊や地すべりを起こさないよう十分に注意し埋戻しを行うこと。
- ・ 埋戻し後の整形については、業務主任とよく協議を行うこと。

3. 張芝（法面）

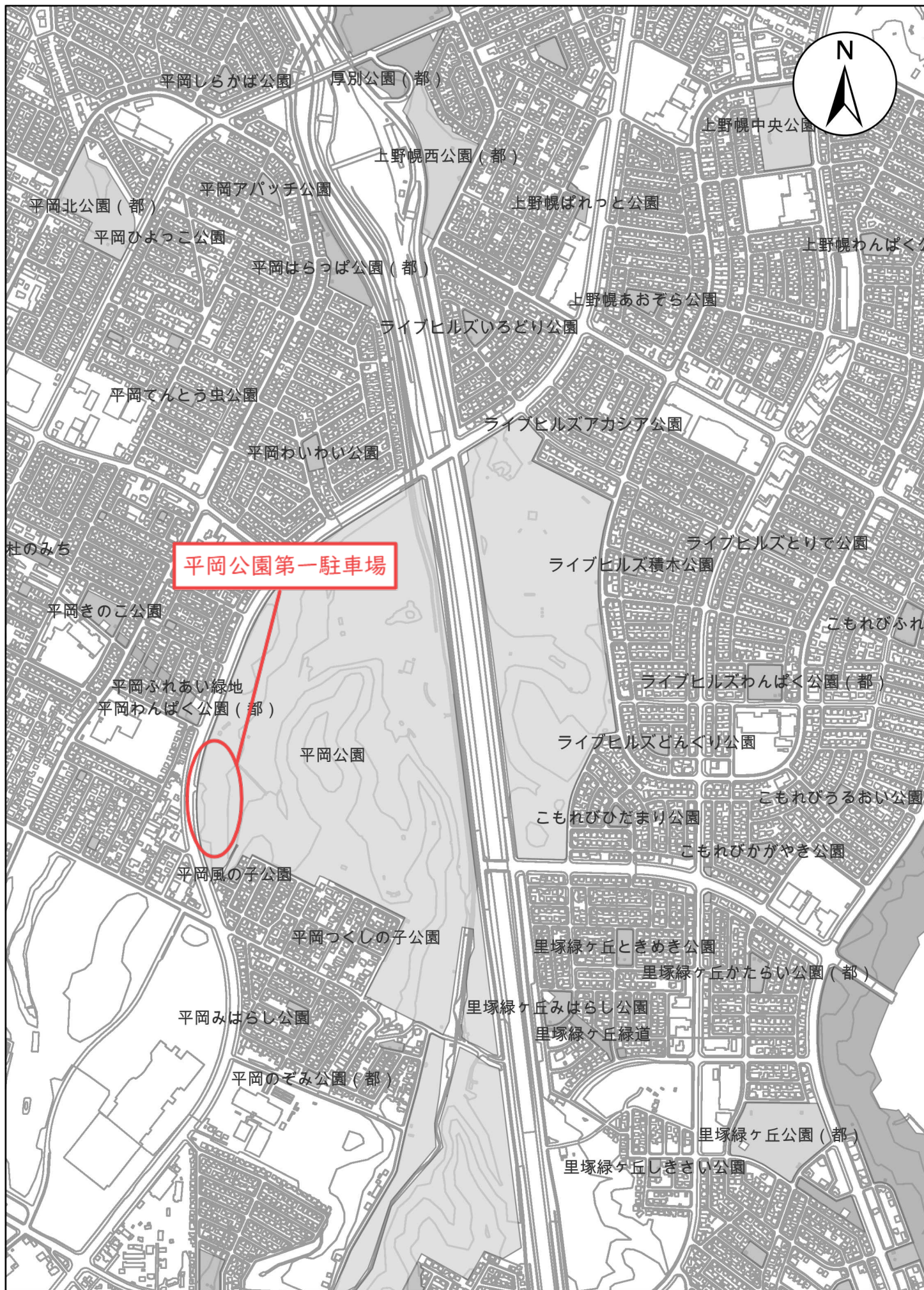
- ・ 整形した法面に張芝（栽培土工芝）を行う。

【作業時期・作業時間】

当公園は、多くの来園者が訪れる公園であり、施工場所が駐車場から園内への動線となっているため、安全施設や交通誘導には十分に配慮し、日程や搬入車両、門扉の開閉等についても指定管理者とよく協議を行うこと。

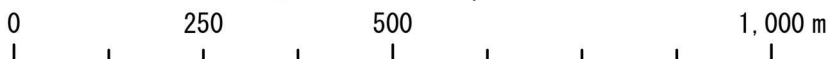
【注意事項】

- ・ 関係法令等の規定を遵守すること。
- ・ 安全第一で作業すること。
- ・ 作業の際には、交通誘導員を配備し、作業箇所周辺には保安用品（カラーコーン、コーンバー、オレンジネット等）で養生するなど安全対策を十分行うこと。
- ・ 現地作業前に、作業工程等について業務主任と協議すること。
- ・ 作業に関連し、必要資材、物品の発注は早々に行うこと。石油製品等の不足により資材の入手が困難な場合は業務主任と協議すること。
- ・ 現地作業に当たっては、指定管理者と事前に調整を行い、公園利用の支障がないよう、十分に配慮すること。
- ・ アイドリングストップ等、環境に与える負荷を低減するように努力すること。
- ・ 環境に関する諸法令に従い、業務を実施すること。
- ・ 公園内に車両を進出させる際は、車両進入許可が必要となるため、車両進入許可申請をみどりの管理課宛に行うこと。
- ・ 施工の際には、既存の公園施設を破損しないよう十分注意し、破損させた場合は必ず業務主任に報告し、速やかに復旧すること。



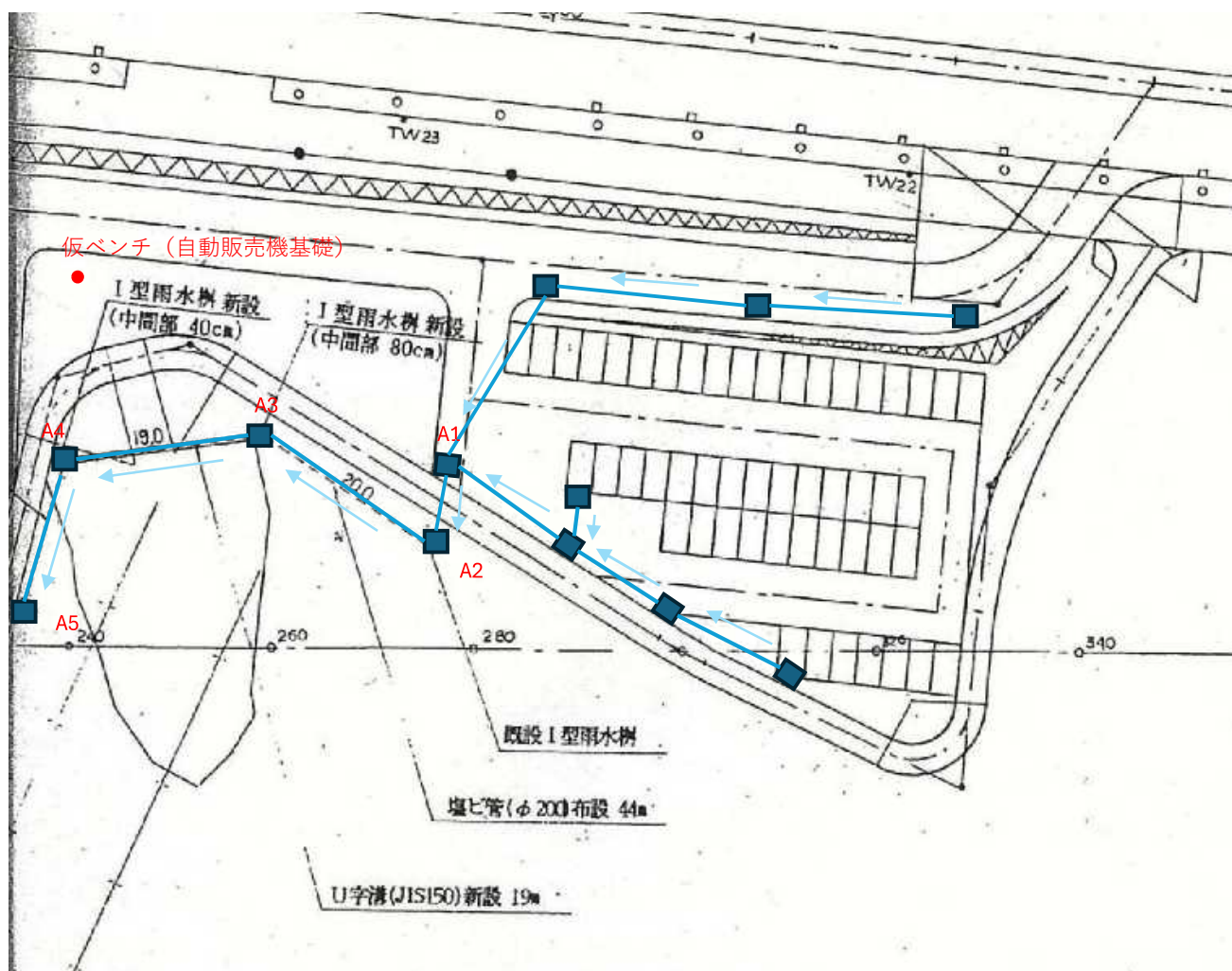
位置図

縮尺 1:10,000



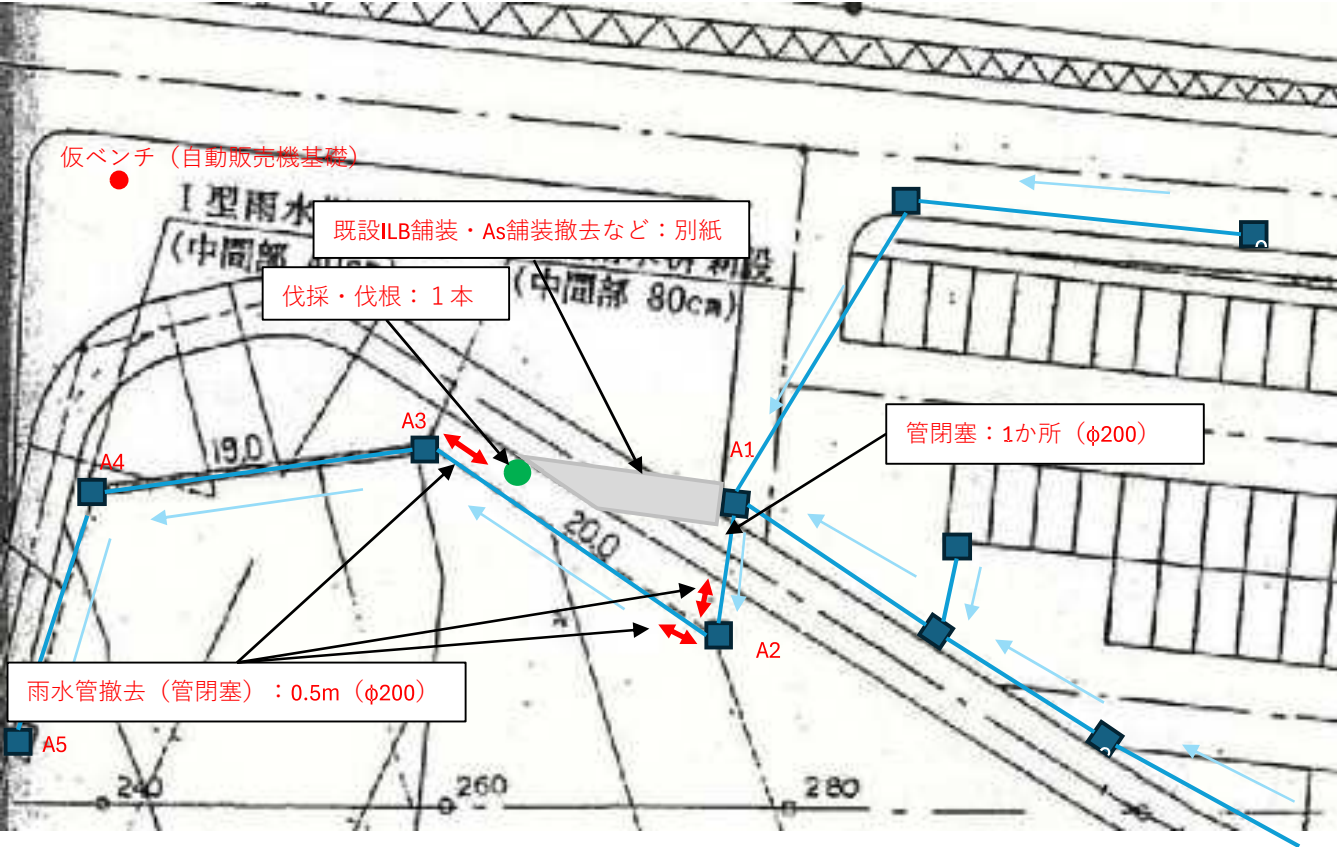
1/2,500札幌市現況図DMより作成「軽量地図」を使用 |

現況平面図



枺番号	枺天端高	管低高		管延長 (m)		勾配	管径	備考
仮ベンチ	10.000							
A1	9.910	入1	8.920	A1～A2	6.70	4.179%	φ 200	I 型A枺
		入2	8.740					
		出	8.670					
A2	9.550	入	8.390	A2～A3	20.10	1.592%	φ 200	0.9×0.85×1.44 (外寸)
		出	8.360					
A3	9.640	入	8.040	A3～A4	19.50	0.000%	φ 200	I 型A枺
		出	8.040					
A4	9.190	入	8.040					I 型A枺
A5		トラップ枺						

撤去平面図（１）



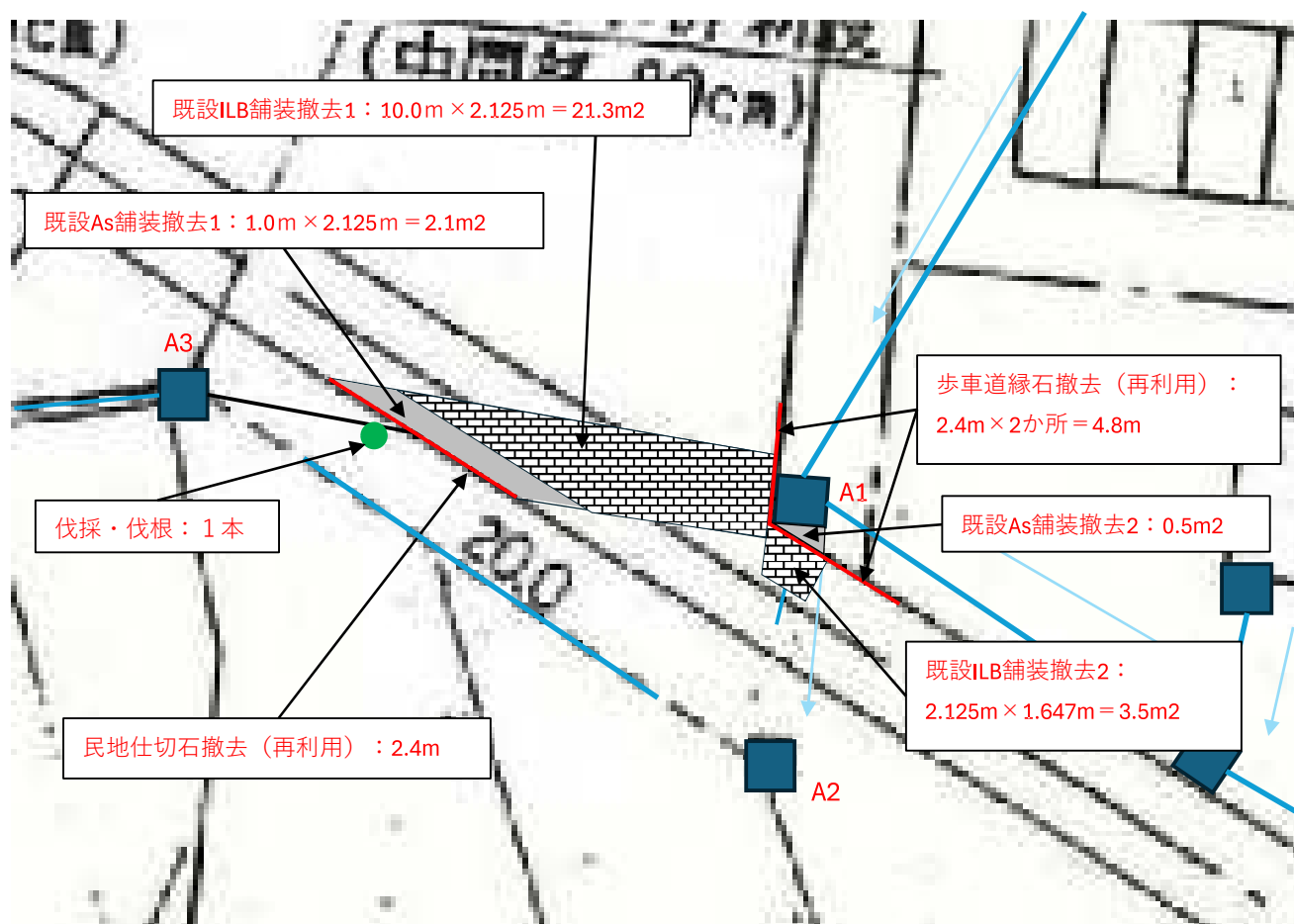
雨水排水撤去一覧表

桧番号	桧天端高	管低高		撤去内容	管径	備考
仮ベンチ	10.000					
A1	9.910			A1桧：既存残置	φ 200	I 型A桧
		入1	8.920	既存残置		
		入2	8.740	既存残置		
		出	8.670	管閉塞		
A2	9.550			A2桧：既存残置	φ 200	0.9×0.85×1.44 (外寸)
		入	8.390	桧流入側0.5m撤去（管閉塞）		
		出	8.360	桧流出側0.5m撤去（管閉塞）		
A3	9.640			A3桧：既存残置	φ 200	I 型A桧
		入	8.040	桧流入側0.5m撤去（管閉塞）		
		出	8.040	既存残置		
A4	9.190			A4桧：既存残置		I 型A桧
		入	8.040	既存残置		
A5		トラップ桧				

その他施設撤去一覧表

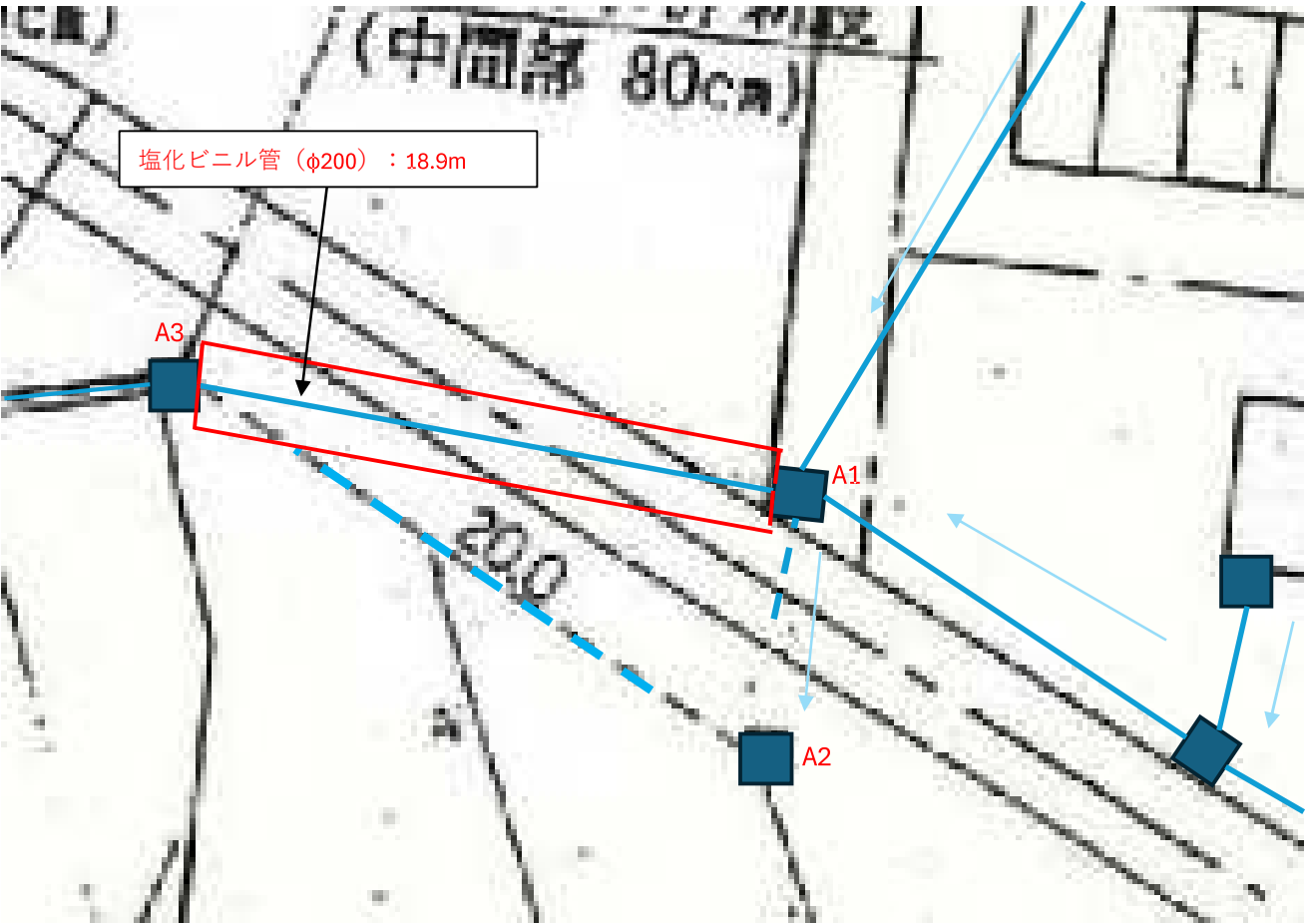
施設名	数量	単位	規格
伐採・伐根	1	本	H12.5、C1.2
既設ILB・As舗装など	1	式	詳細別紙（ILB舗装・As舗装・縁石撤去再設置など）

撤去平面図（２）



施設名	数量	単位	規格
伐採・伐根	1.0	本	H12.5、C1.2
伐採物処分	1.0	式	平岡公園内ヤードへ運搬（3.0km以内）
民地仕切石撤去	2.4	m	再利用
歩車道縁石撤去	4.8	m	低下（特殊）再利用
既設As舗装切断	4.2	m	t30
既設As舗装撤去1	2.1	m ²	t30
既設As舗装撤去2	0.5	m ²	t30
既設ILB舗装撤去1	21.3	m ²	t60
既設ILB舗装撤去2	3.5	m ²	t60
As・ILB処分	1.0	式	

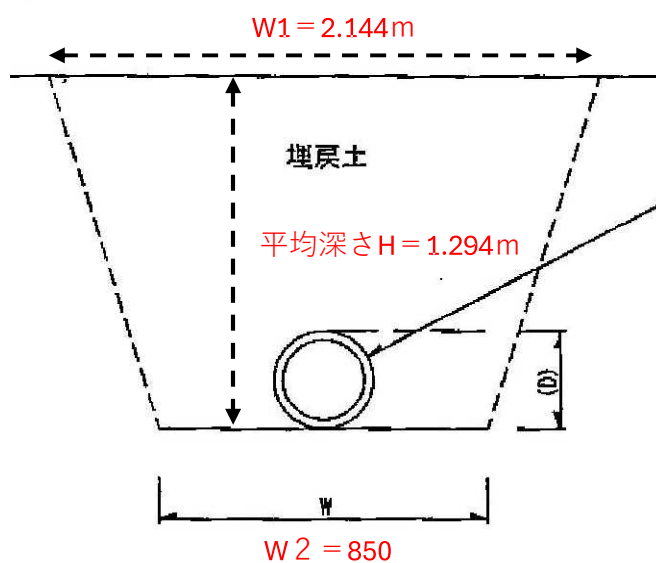
新設平面図（雨水）



枺番号	枺天端高	管低高		管延長 (m)		勾配	管径	備考
仮ベンチ	10.000							
A1	9.910							I 型A枺
		入1	8.920					
		入2	8.740					
		出 (旧)	8.670					
		出 (新)	8.670					
A3	9.640			A1～A3	18.90	2.000%	φ 200	I 型A枺
		入 (旧)	8.040					
		入 (新)	8.292					
		出	8.040					

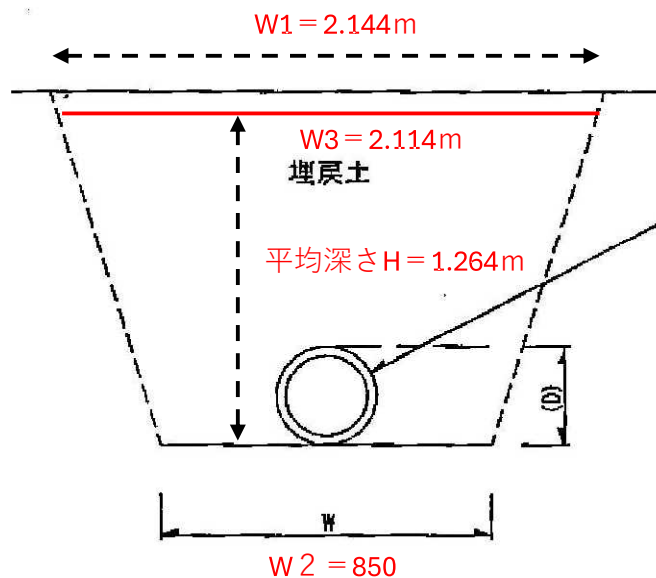
【掘削断面】

標準掘削断面



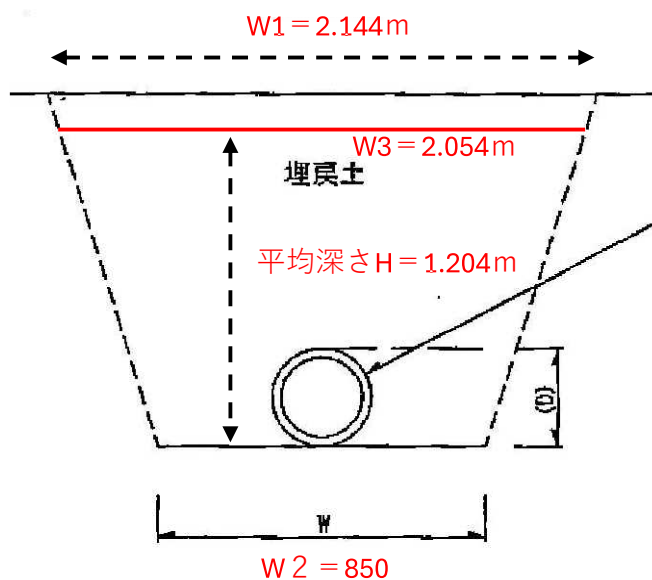
$$\text{掘削} \quad (0.85 + 2.144) / 2 \times 1.294 - (0.1 \times 0.1 \times \pi) \\ 1.937\text{m}^2 - 0.0314\text{m}^2 = 1.90\text{m}^2$$

As部：掘削断面



$$\text{掘削} \quad (0.85 + 2.114) / 2 \times 1.264 - (0.1 \times 0.1 \times \pi) \\ 1.873\text{m}^2 - 0.0314\text{m}^2 = 1.84\text{m}^2$$

ILB部：掘削断面



$$\text{掘削} \quad (0.85 + 2.054) / 2 \times 1.204 - (0.1 \times 0.1 \times \pi) \\ 1.748\text{m}^2 - 0.0314\text{m}^2 = 1.71\text{m}^2$$

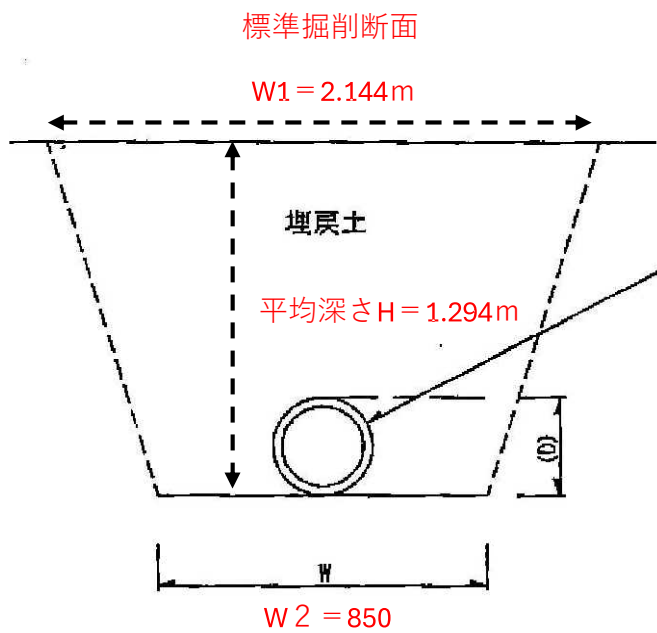
照明灯配線

管径FEP50

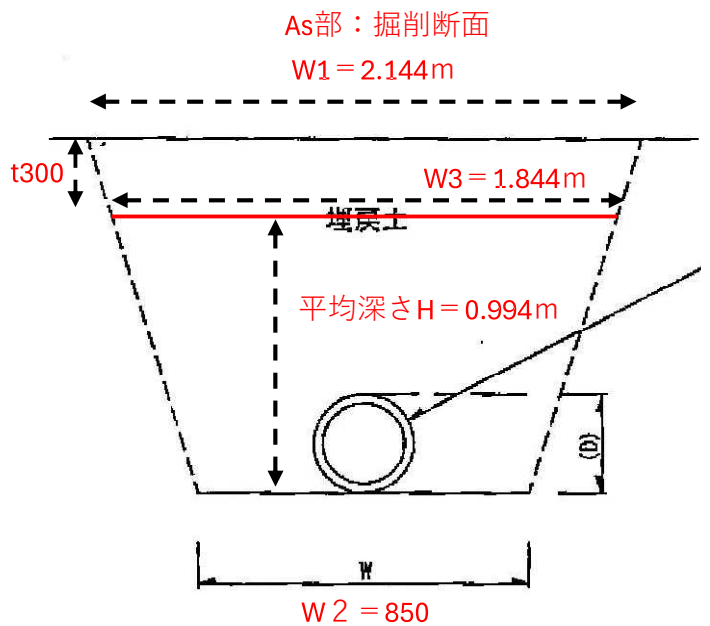
管底GL-750

従って、GL-700～750に配管あり

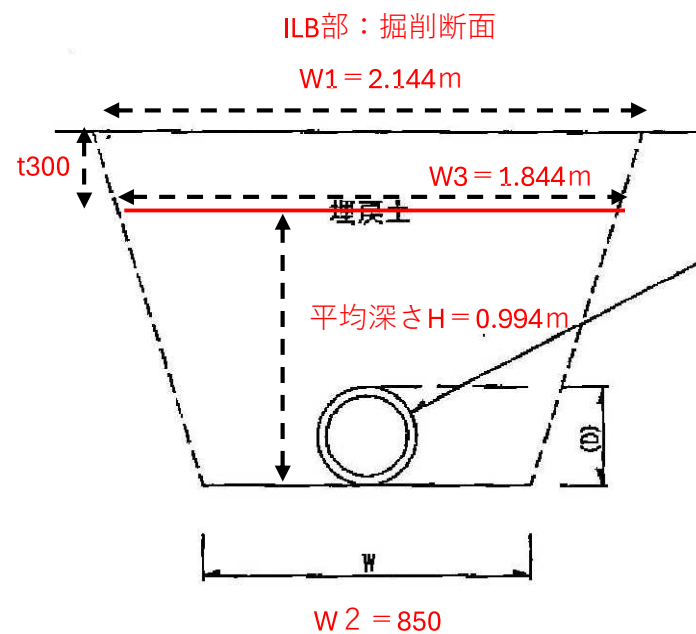
【埋戻し断面】



埋戻し $(0.85 + 2.144) / 2 \times 1.294 - (0.1 \times 0.1 \times \pi)$
 $1.937\text{m}^2 - 0.0314\text{m}^2 = 1.90\text{m}^2$

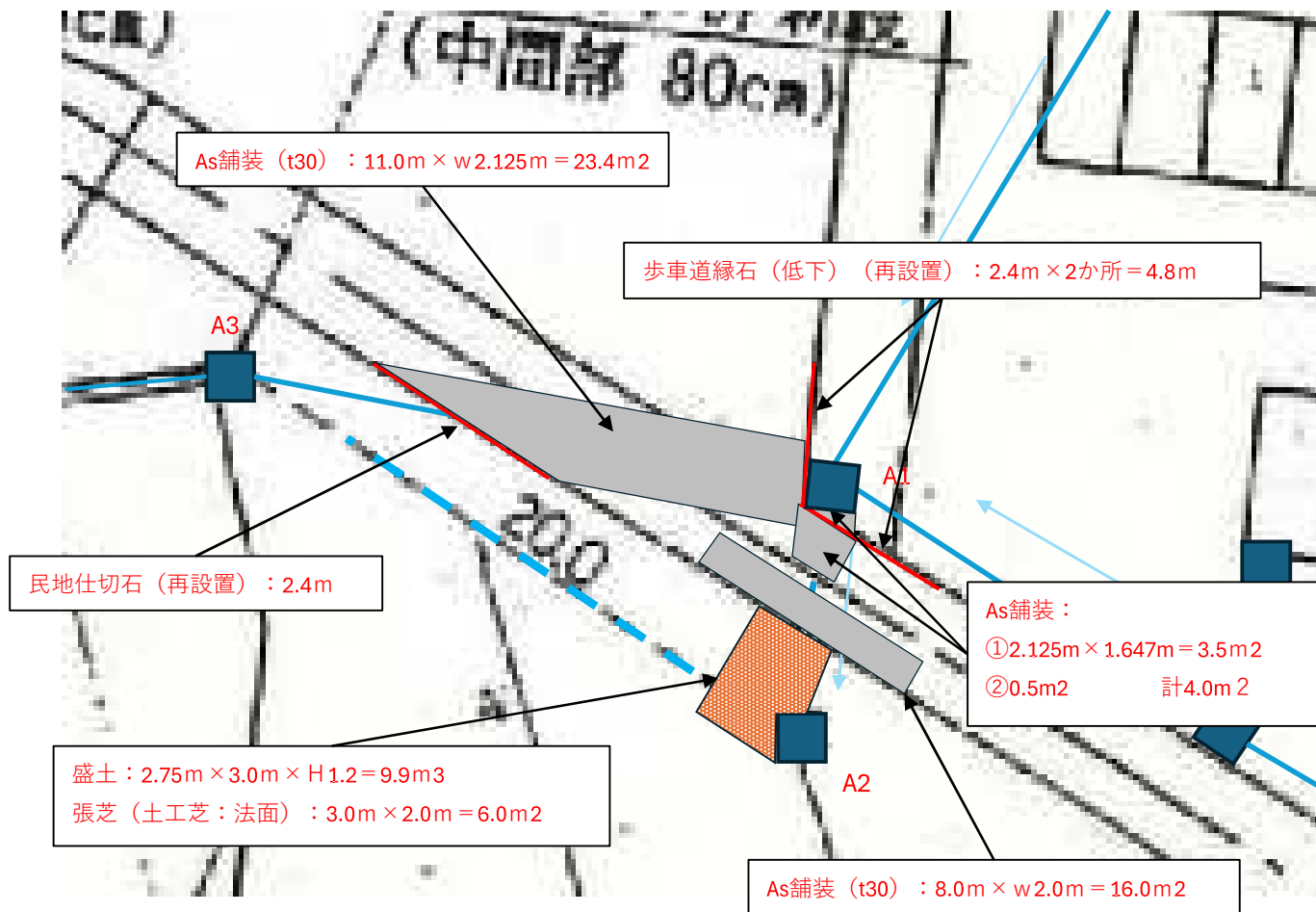


埋戻し $(0.85 + 1.844) / 2 \times 0.994 - (0.1 \times 0.1 \times \pi)$
 $1.338\text{m}^2 - 0.0314\text{m}^2 = 1.30\text{m}^2$



埋戻し $(0.85 + 1.844) / 2 \times 0.994 - (0.1 \times 0.1 \times \pi)$
 $1.338\text{m}^2 - 0.0314\text{m}^2 = 1.30\text{m}^2$

新設平面図（園路広場整備工等）



施設名	数量	単位	規格
民地仕切石（再設置）	2.4	m	撤去再設置
歩車道縁石（再設置）	4.8	m	撤去再設置
As舗装	27.4	m ²	As舗装 t30、下層路盤 t100（再生骨材）、凍上抑制層 t170（再生骨材）
As舗装	16.0	m ²	As舗装 t30（下層路盤まで完了）
盛土	9.9	m ³	平均断面より
張芝	6.0	m ²	土工芝、法面

委託費内訳書

工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要
委託費						
	準備・仮設	式	1			内-1
	樹木伐採	本	1			単-1
	既設舗装撤去	m2	27.4			単-2
	雨水管埋設	m	18.9			単-3
	舗装復旧	m2	27.4			単-4
	既存雨水桝・ 雨水管閉塞	式	1			内-2
	滑落部埋戻し	式	1			内-3
	法面張芝	m2	6			単-5
直接業務費						
	共通仮設費	式	1			
小計						
	現場管理費	式	1			
業務原価						
	一般管理費	式	1			
業務価格						
消費税等相当額		式	1			10%
業務委託費						

札幌市

準備・仮設 内訳書

一金 _____

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
測量・丁張設置						
造園工		人	1.25			
普通作業員		人	1.5			
丁張資材費		式	1			
測量器具損料		式	1			
車両費		台	1			
バリケード設置、撤去						
普通作業員		人	4			
バリケード類レンタル費		式	1			
運搬車両費		式	2			
ブルーシート、コンパネ養生						
普通作業員		人	2			
資材費		式	1			
計						

既存雨水桝・雨水管閉塞 内訳書

一金 _____

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
既設雨水桝接続管撤去、穴塞ぎ						
造園工		人	2.25			
普通作業員		人	1.75			
モルタル、止水材		式	1			
工具レンタル費		式	1			
廃止雨水桝VP管撤去、穴塞ぎ						
造園工		人	1			
VPキャップ		個	3			
計						

滑落部埋戻し 内訳書

一金 _____

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
滑落部埋戻し						
土砂等運搬	小規模 バックホウ山積0.13m3（平積0.1m3） 土砂（岩塊・玉石混り土含む） 無し 0.3km以下	m3	12			
赤土	崩土	m3	12			
路体（築堤）盛土	2.5m未満	m3	10			
法面整形	盛土部 無し 無し 砂質土、砂及び砂質土、粘性土 全ての費用	m2	6			
ブルーシート、土嚢処分		式	1			
計						

単-1

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
伐採（チェーンソー伐採）	幹周 120≦C<150cm	本	1			
抜根（機械抜根）	幹周 120≦C<150cm 標準	本	1			
現場発生品及び支給品積込・荷卸	クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t	t	3			
現場発生品及び支給品運搬	クレーン装置付4～4.5t積、吊能力2.9t 無し 4.0km以下	t	3			
計						
単価						円／本

単-2

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
既設舗装撤去	As舗装＋ILB舗装＋歩車道縁石・民地仕切石 ※歩車道縁石・民地仕切石は再利用 ※処分費含む	m2	1			

単-3

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
雨水管埋設	VP200 ※残土処分等含む	m	1			

単-4

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装復旧	As舗装 t30・下層路盤 t100・凍上抑制層 t170（27.4m2） As舗装 t30のみ（16m2） ※歩車道縁石・民地仕切石復旧含む	m2	1			

単-5

名称	仕様・形質	単位	数量	単価	金額	摘要
張芝工	芝串あり	m2	1			
植栽割増（率）5%		式	1			
計						
単価						円／m2